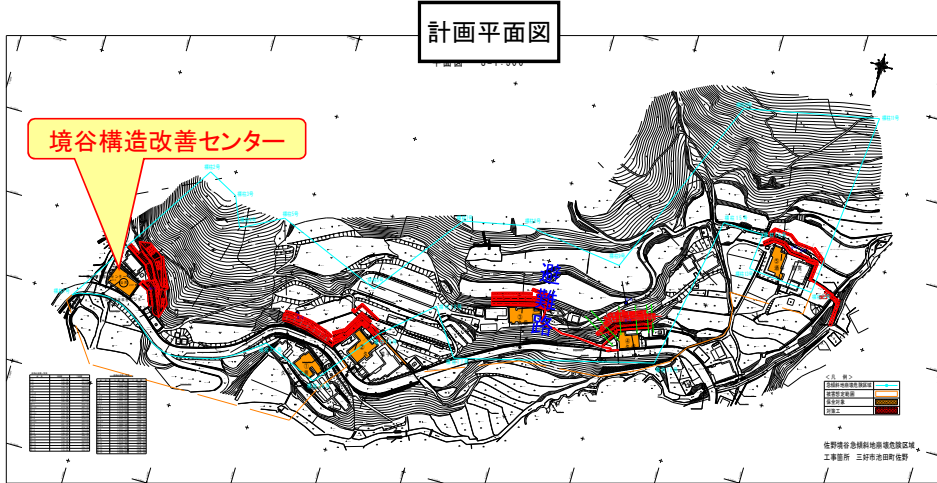


砂防事業 事後評価結果

担 当 課 : 砂防防災課

担当課長名 大和 章人

事業の概要

事業名	急傾斜地崩壊対策事業	事業区分	急傾斜地崩壊対策事業(補助)	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県三好市池田町佐野	箇所名	佐野境谷急傾斜地崩壊危険区域		
事業概要					
重力式擁壁 L=220m, 吹付法砕工 A=1400m2					
事業の目的・必要性					
当区域においては、保全対象の人家5戸及び地域防災計画(三好市)に位置付けられた避難場所である境谷構造改善センターなどに被害を及ぼす恐れがあり、地域に与える影響は甚大なものとなる。 このため、急傾斜地崩壊防止施設の整備することにより、国土の保全及び民生の安定を図る。					
総事業費		206百万円			
事業概要図・写真					
 施工箇所  完成写真		計画平面図 			

事業評価結果

事業効果等	評価項目	評価内容
	①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	計画全体事業費170百万円→精算全体事業費206百万円 計画工期H23～H26→実施工期H23～H26 着手時B/C=2.5→完成時B/C=2.2
	②事業の効果の発現状況	・擁壁の設置により、がけ崩れからの不安が払拭され、安全に暮らせる環境が整備された。 ・地域活動にとって重要な集会施設であり、災害時の避難所でもある境谷構造改善センターや集落から避難所を結ぶ避難路となる市道白地境目線が保全されたことにより、地域の防災力の向上が図られた。
	③事業実施による環境の変化	・大規模な切土など地形の改変を最小限に抑える工法を選定しており、現在環境の変化は認められない。
	④社会経済情勢の変化	・近年ゲリラ豪雨等により多発する土砂災害に対する防災意識が一層高まっている中、当事業の実施においては土砂災害による地域の安全を確保しながら、土地利用や保全対象に影響を与えることなく、防災面の向上に寄与している。
	⑤課題と今後の事業への反映	・当区域では、小崩壊が発生したため修正設計により一部工法変更する必要が生じた。今後は、斜面下での切土・掘削や降雨による湧水の増加による表層崩壊の発生に十分留意するとともに現場の安全対策の強化を図りたい。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用		総便益	
	着手時	平成23年	2.5	158	工事費、調査費	390	人家5戸、構造改善センター
	完成時	平成27年	2.2	224	工事費、調査費	499	人家5戸、構造改善センター

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。